

グループホーム「櫻」第30回運営推進会議議事録

日時 平成26年1月28日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市介護保険課 課長 石黒貫爾
(代理 須田氏)
葉桜自治会 福祉部長 松下元
社協：地域包括支援センター管理者 渡邊誓子
逗子市民生委員 中田美代子
ご家族代表 今井真知子

「委員5名中 5名出席」

医療法人社団柏信会 理事長 角野禎子
看護部長 岩木和子
グループホーム「櫻」 管理者 林 さゆり
事務長 遠藤勝三

会議概要

1. 開会の辞

定刻、事務長は各委員に本日の出席を謝すと共に理事長が診療の関係で若干遅れることを伝え、配布資料の確認及び議事の説明を行う。

2. 理事長挨拶（挨拶の要旨）

グループホームは問題のある方、即ち「認知症」により日常の生活に支障をきたした方たちが一緒に入居し、家庭的な生活環境のもと、習慣的にやってきたことを思い起こさせ、やっていただきながら、その人たちの自立を助け、お馴染みの人間関係の中、安定した日々をその人らしく「心」に添って生きることを目的とした在宅的なケア施設です。

これにはスタッフのサービスばかりでなく家族の協力も欠かせないが、「櫻」が病院の敷地の中に立っているため、当初(入所時)の説明を忘れ、施設に任せきりの状態が散見される。グループホームの本質をご理解頂き、ご支援をお願いしたい。

事務長は理事長挨拶終了後、先の説明に引き続き議案に入る。

3 議題等

(1) 報告事項

ア 入居者の現況及び活動状況について（資料）

：入居者の現況

各ユニットは、入退所、介護度区分変更、加齢等により前回に比し若干の変更がありました。

ユニット合計で説明する。

要支援 2	0名は増減無し
要介護度 1	1名が2名 1名増
要介護度 2	4名が5名 1名増
要介護度 3	7名が5名 2名減
要介護度 4	2名は増減無し
要介護度 5	4名は増減無し

平均年齢は87.78歳が88.11歳で0.33歳の増
地域別では逗子市が17名、葉山町1名の合計18名です。
年齢構成別では70歳台が1名、80歳台が7名、90歳台は10名とかなりの高齢者が入居されております。

なお、ユニット別の平均介護度では Aユニットは2.9度
Bユニットは3.2度と0.3度高く、平均年齢も0.23歳高い状況です。

：活動状況

月刊の「さくら」10月号及び11・12月号で概要を説明した。

10月号のご利用者様の現況でお知らせした数値は前回の推進会議でお知らせしたものです。

このように各号の記事内容には事務局からの連絡事項等が多く掲載する事になりました。限られた紙面、活動写真が少ないときには記事がなく苦勞します。事務方に偏った編集ではなくご家族様の投稿を呼びかけ内容を充実したいと1月号で再度投稿をお願いする予定です。

イ 外部評価訪問調査について（資料）

1月15日（水）10：00～15：00の間、2名の担当者により評価項目の順番にヒヤリング、事業所全体の視察、現場の

実践体験、当日勤務職員とのヒヤリング、まとめ及び具体的な達成目標の設定等の話し合いが行われました。

※ 別紙資料の見方を説明

ウ 逗葉地区グループホーム連絡会について

1月17日(金) 13:30～15:00、グリーンハウス逗子の会議室を借用し開催しました。

3月から持ち回り幹事施設として2年間、「櫻」から「葉山の里」に引き継がれることになった。

各施設、運営上の問題を抱えているが就業者の応募がなく、常に人材難を嘆いている。広告チラシ等を出しても反応がない。

労働環境、賃金、福利厚生等がネックになっているとの事。

今後も情報交換の場として本会の継続を確認した。

(2) その他

： 受診(入院)記録の様式について(資料)

前回、看護部長から提案の受診記録等の様式について原案を説明し意見を求める、新年度から実施したい旨を補足する。

なお、看護部長から提案の趣旨等の補足説明をして頂く。

※ 様式の内容等は実施までの間に看護部長と調整する事になった。

事務長は各委員の了承を得て、以上の議案(報告)に関連した質問等は懇談形式で実施した。

質問等の概要は以下のとおり。

Q：外部評価の委託業者名は・

A：資料の自己(外部)評価票にも記載されているが、(株)R—CORPORATIONで「櫻」創設時は県の推薦業者は全部で3社、そのうちの1社で現在まで継続している。

Q：地域密着の市町村単位が平成16年以前に戻り県単位と言ううわさがあるが。

A：市のほうには地域密着が定着している現状を変える話はない。

Q：逗子市5万人台、葉山町3万人台で単位が小さい。せめて10万人台の単位以上を望みたい。

A：県単位の話は保険料のばらつきを是正することではないか。

Q：地域包括支援センターにおける施設入所相談はどうか。

A：GH入所相談は今のところない。相談に来るのは今、入所したいと言う緊急性を訴える方が多い。

Q：開放型施設でもあるので見学のみでも紹介できないか。

A：今後留意したい。

Q：自治体も高齢化が進み防災や独居の問題を抱えている。

A：自治体の交流(勉強会)は「櫻」としても望むところであり、認知症予防、疾病予防等、法人施設を借用し講師を招聘し実施できるので、気軽に相談して欲しい。

※その他少なからず発言はあったが、上記に付随したものであり割愛する。

※ 次回開催予定：平成26年4月30日（火）14：00～15：00
（定例の月末火曜日（29日）が休日のため。）

4 閉会の挨拶

事務長は意見交換終了を見お計らい次回開催日を委員に計らう。

※ 次回開催予定：平成26年4月30日（火）14：00～15：00
（定例の月末火曜日（29日）が休日のため。）に決定した。

以上をもって会議終了を宣する。